

突如西武・そごうを傘下に 鈴木敏文が描くセブン&アイの将来図

# 財界

ZAikai  
a Japanese business biweekly

三菱東京UFJ銀行が  
抱える三つの課題

2006 1/31

◎インタビュー  
モスフードサービス社長  
櫻田 厚

◎新連載  
東急不動産取締役相談役  
安藝 哲郎

パナソニック代表  
南部 靖之



福井威夫社長に直撃  
二〇〇六年ホンダはどう動く？

本誌主幹  
村田博文

表紙の人  
ニフコ社長  
渡邊 隆治  
撮影 齊田 勲

◆このトップの経営戦略



サービスの入口となる「絵本書店」(eshototen.com)。今月の中旬頃から本格的にサービスを開始する。

## 「思い出を一冊の本に」 Web上で簡単にオリジナルの本が作成できるサービスを 今月より開始

ミールソリューションズ株式会社

代表取締役 横田史朗

結婚、出産、誕生日、子供の入学・卒業など、人生における思い出のワンシーンを「本」にして残す一冊。

この全く新しいサービスを手掛けるのが、ミールソリューションズ株式会社(東京都中央区)だ。営業支援のWebドキュメントシステムを展開する同社はそのノウハウを生かし、オンデマンド印刷及び個人出版事業を手掛ける株式会社プリコ(東京都千代田区、岩本俊治社長)と提携して、Web上で誰もが簡単に本の制作・編集ができるシステムを開発した。Webを活用したアルバム制作ソフトは最近では多く見られるが、それらとは趣を異にしている。

この新しいサービスではリーズナブルに、そして誰でも簡単に立派な「本」を作ることができる。そして手作りであるがゆえ、一冊の本として「想い」を表現できることこそが、他にはない最大の魅力でもあるのだ。

具体的にこのサービスでは、どういった作業で一冊の「本」に仕上がっていくのかを簡単に説明しよう。

まず、専用のサイトで会員登録(無料)をして、本のサイズとボリューム(ページ数)を選択する。そして、本に載せたい写真やイラスト、またはテキスト(文章)のデータを表紙や各ページごとに選択していく。それから編集開始だが、後は選択した写真やテキストを好みによって配置していくだけでよい。デザインソフトは初心者には難しいイメージがあるが、このシステムに関しては特に必要な知識や操作は全くの無用。普段インターネットやメールを利用している人であれば、誰でも簡単に操作が可能だ。編集が終わったら「発注」ボタンをクリックし、後は完成した本が送られてくる

のを待つだけだ。

筆者もこのシステムをデモ段階で実際に利用してみたが、制作期間1日足らずで予想以上の立派な本が出来上がった。本を贈られた側もうれしいだろうが、その仕上がり具合には作った本人も感激の一言である。

デジタル化が進み、「人の心が失われつつある」という嘆きをよく耳にする。しかしデジタルを活用して、「本」という形に「心」を注入できるのが、まさしくこのサービスであると言えるのだ。同社代表の横田氏も、「デジタルを生業とする人間として、こうした時代だからこそ人の心を大事にしていきたい。」と話す。

今後は結婚や誕生日など目的別にサイトを設け、テンプレートやツールバリエーションを充実させていく予定だ。また、フィルムで撮影した古い写真をデータ化し、Web上にアップロードするサービスも視野に入れており、より一層の利便性を追求していく。

最後に横田氏は、このサービスを始めた真意について次のように語ってくれた。

「想いのたくさん詰まった写真や言葉を本にすることで、どんな高価な贈り物よりも心が相手に伝わるはずです。大事な人への贈り物として、また人生の軌跡の一つとして、多くの人の役に立てればうれしい。」



(写真左)  
編集画面で各ページごとに画像やテキストを配置していく。初心者でも簡単に操作が可能なので安心して利用できる。